

高齢者の交通事故を防ぐために！



ドライバーのみなさんへ

- 高齢者を見かけたら、減速しましょう。
- 高齢者の横断はゆっくりです。優しい気持ちで待つゆとりを持ちましょう。
- あなたもいつかは年を取ります。思いやりの運転に心がけましょう。

歩行者のみなさんへ

- 高齢者には積極的に手を貸してあげましょう。

高齢者のみなさんへ

- 夕暮れ時や夜間の外出は要注意！明るい服装で出掛けましょう。
- 夜道は反射材を身につけて、「わたしがここにいる！」と、目立ちましょう。
- 遠回りでも歩道橋や横断歩道を渡りましょう。
- 若いころとは違います。青信号が点滅したら、次の青信号まで待ちましょう。
- 自分を過信せず、能力に応じた行動をとりましょう。



自分の身は自分で守るよう心がけましょう！

飲酒運転の撲滅を目指しましょう！

「つい、飲んでしまった」「飲んだけど、ちょっとだけだから、まっ、いいか」
「このくらい飲んだってわかりゃしない」「少し休めば大丈夫」…。
少しでも頭をよぎったことはありませんか？あなたの行動が招く悲劇を想像してみてください。



飲食店経営者
飲酒を容認したため
1年以下の懲役または
30万円以下の罰金



運転手
飲酒運転
最長20年の懲役
(危険運転致死傷罪含む)
最高50万円の罰金
免許取り消し



同乗者
飲酒を容認したため
1年以下の懲役または
30万円以下の罰金

あなたは破滅へと続く道を、まだ走るのですか？



愛知県では今年初めから交通事故死ワースト1位が続いています。安城市ではすでに9件の死亡事故が発生し、9人の尊い命が失われました(9月末現在)。事故の犠牲者の大半が高齢者で、自転車走行中や歩行中に起きています。

また、最近ではテレビや新聞のニュースで取り上げられているように、飲酒運転による悪質な事故も急増しています。被害者になっても加害者になっても、あなたとあなたの大切な人たちのしあわせが崩れ去ってしまいます。

いつ何時、交通事故の当事者になるかもしれません。そのようなことにならないために、みなさんで考えてみませんか？



中川義男署長

安城警察署長からのお願い

安城警察署では、現在「ストップ・ザ・ワースト」ファイナル100日作戦として取り締まりを強化しています。特に飲酒運転や、交差点での信号無視、一時停止違反など、大きな事故に直結する違反を重点に取り締まりを実施しています。酒酔い運転など悪質な違反で交通事故を起こしたら厳しい処分が待っています。

朝、車で出かける時、「今日一日安全運転、絶対事故はしない」と自分に言い聞かせてください。おかあさんは子どもに「車に気をつけてね」と、また、近所のお年寄りに会ったら「事故が多いから車に気をつけて」と一言声をかけてください。地域ぐるみで交通事故を無くしましょう。

問い合わせ ▶ 市民安全課